

# GUIDE BOOK 2025

IMAGINE  
THE  
FUTURE.

## AC入試・特別入試

- P.02 AC入試
- P.04 国際バカロレア特別入試
- P.04 国際科学オリンピック特別入試
- P.05 海外教育プログラム特別入試
- P.05 研究型人才入試



筑波大学  
University of Tsukuba

# 2025年度 学群・学類の定員と募集人員

		個別学力検査等														
学群	学類・専門学群	入学定員	前期日程				推薦入試	アドミッションセンター入試	国際バカロレア特別入試		国際科学オリンピック特別入試	海外教育プログラム特別入試	研究型人才入試	外国学校経験者特別入試		留学生等プログラム特別入試*2
			(総合選抜)入試区分別	(総合選抜)入学者の2年次受入予定人数	(学類・専門学群選抜)	後期日程			7月募集	10月募集				【第1種】私費外国人留学生等長期就学者	【第2種】帰国生徒等短期就学者	
人文・文化学群	人文学類	120		30	45	20	15	5		若干				5		
	比較文化学類	80		20	35		16	5		若干				4		
	日本語・日本文化学類	40		20			14	3		若干						3
社会・国際学群	社会学類	80		20	40		16			若干						4
	国際総合学類	80		20	36		20			若干						4
人間学群	教育学類	35		3	20	3	7		若干	若干				1	1	
	心理学類	50		5	26	4	12*1		1	若干				1	1	
	障害科学類	35		3	16	3	11		若干	若干				1	1	
生命環境学群	生物学類	80		20	18	12	22	3		若干				若干	若干	5
	生物資源学類	120		20	52	15	27			若干				若干		6
	地球学類	50		13	21	4	10			若干					2	若干
理工学群	数学類	40	文系126							若干						
	物理学類	60	理系I 154				8			若干				2		
	化学類	50	理系II 41				14			若干	若干			3		
	応用理工学類	120	理系III 84				12			若干	若干			2		
	工学システム学類	130					16			若干						13
	社会工学類	120					12			若干				6		
情報学群	情報科学類	80		20	38		10	8		若干	若干			4	若干	
	情報メディア創成学類	50		15	20		8	4		若干	若干			3		
	知識情報・図書館学類	100		40		10	40	5		若干				5		
医学群	医学類	98		5	44地域枠*3		44地域枠*3		3	若干		2	若干			
	看護学類	70		5	37		25			若干						3
	医療科学類	37		10	12		10			若干				5		
体育専門学群	240			130		90	8		若干				12			
芸術専門学群	100		5	45	10	35			若干				5		若干	
合計	2,065		405	850	149	512	41	4+若干	若干	若干	2	若干	64+若干		38+若干	

\*1 人間学群心理学類の推薦入試は、大学入学共通テストを課します。

\*2 「学群英語コース特別入試」「Japan-Expert(学士)プログラム特別入試」「地球規模課題学位プログラム(学士)入試」「総合理工学位プログラム(学士)入試」を合計した数を示します。

\*3 地域枠については、国との協議によって、募集の有無及び定員が確定次第、本学ホームページにて公表します。

# AC入試（アドミッションセンター入試）

- ✓ 自己推薦型（書類＋面接）の入試です。
- ✓ 自分で課題を見つけ、解決する能力を評価します。
- ✓ 現役生、過年度生、社会人。大学入学資格を持つ方を広く対象としています。

## 【過去の実績】

	募集人員	志願者数	合格者数
2024年度	45人	318人	47人
2023年度	45人	306人	41人
2022年度	45人	247人	41人
2021年度	45人	284人	41人
2020年度	68人	446人	43人

## ● アドミッション・ポリシー

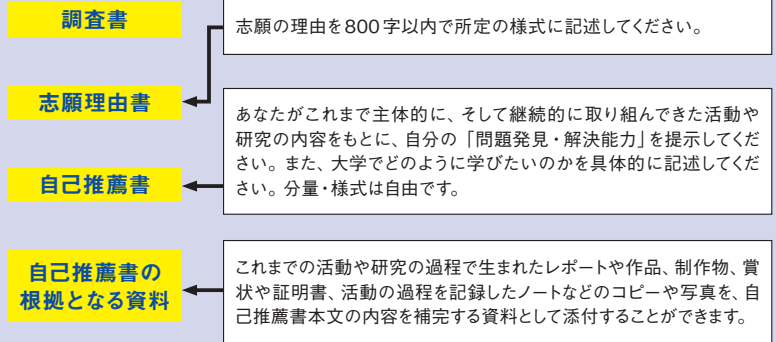
志願者の主体的で継続的な取り組み（最近2年間、又はそれ以上の長期間にわたるもの）から「問題解決能力」を評価します。この入試の合格者にふさわしい志願者がいないと判断した場合は、募集人員どおりに合格者を決定することにはせず、個別学力検査等（前期日程）の募集人員によって、その人員を充足します。以下の各学類・専門学群のアドミッション・ポリシーと併せて評価します（最新のアドミッション・ポリシーは学生募集要項で確認してください）。

## ● 自己推薦資料テーマ例

近年のAC入試で合格した先輩たちの自己推薦資料テーマです。AC入試は今まで行ってきた活動や研究に基づく自己推薦内容を評価する入試です。これらの例にとらわれず、思い切ってチャレンジしてみましょう。

## ● 第1次選考（書類審査）

次の書類を審査し、第1次選考合格者を決定します。



## ● 第2次選考（面接・口述試験）

第1次選考の合格者に対し、30分程度の個別面接を実施します（必要に応じて延長される場合があります）。あなたが「自己推薦書」などで示したことを、あなた自身の言葉でさらに詳しく説明してください。大学で学びたいことについてのこれまでの学習状況などを具体的に話してください。

実施学群・学類	アドミッション・ポリシー	募集人員	自己推薦資料テーマ例
人文・文化学群	人文学類	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療人類学—伝統医療を未来につなげるために</li> <li>ウェーバー「鉄の檻」と労働について</li> <li>民俗学—抱き辛習俗と蛇ねじり行事</li> <li>畷岐における神棚文化</li> </ul>
	比較文化学類	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>山岳信仰と伝承文化との出会い</li> <li>内なる現代優生思想と共生社会への歩み</li> <li>eスポーツ文化の発展と普及</li> </ul>
	日本語・日本文化学類	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>宮沢賢治のオノマトペ</li> <li>継承日本語教育の意義</li> <li>「やさしい日本語」による多文化共生の実現</li> </ul>
生命環境学群	生物学類	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウニ類の移動方向を決める要因</li> <li>ヤブガラシの生態</li> <li>センチュウの記憶と学習</li> <li>エチレンがアクリルソチオシアネート生成量に与える影響</li> </ul>
情報学群	情報科学類	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>Pythonによる模擬マルウェアの制作</li> <li>ハンドアクションキーボードの開発</li> <li>軽量かつ柔軟なデスクトップ環境の開発</li> <li>水中における目標物探索AIの研究</li> <li>特殊詐欺電話の簡易識別装置の作成</li> <li>ARアプリケーションの開発と過程</li> </ul>
	情報メディア創成学類	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>4Dの椅子型装置の開発</li> <li>簡易に演奏可能なリコーダー型ウインドシンセサイザーの開発</li> <li>ヘルスケア行動を促進する新たなモチベーション維持戦略の提案</li> <li>英単語学習におけるバイノーラルオーディオの効果</li> </ul>
	知識情報・図書館学類	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>新聞離れが進む世代に読まれる学校新聞を目指して</li> <li>コロナとカラダと社会の健康について—ICT等の活用を通じて</li> <li>自己効力感に注目した生徒主体での野球練習方法の提案</li> <li>伝えること・伝わること・伝えたいこと—図書委員会・演劇部・文芸部の活動を通じて</li> </ul>
体育専門学群		8	<ul style="list-style-type: none"> <li>自転車競技のパフォーマンス向上</li> <li>エアリアルシルクのヘリコキにおけるパフォーマンスを最大限に発揮するための動作パターンの解明</li> <li>空手の組手において体格の小さな選手が勝つ理論</li> <li>飛込競技において成功の再現性を高めるためには</li> <li>自らの命を守る知識や技術の教育としてのライフセービングスポーツの可能性の考察</li> </ul>

活躍する  
先輩たち

AC入試の魅力は自由度の高さ！  
「好き」も「嫌い」も  
持てるエネルギー全て向ける価値がある

沖縄県立博物館・美術館 民俗担当学芸員

(筑波大学人文社会ビジネス科学学術院博士後期課程在籍)

大城 沙織さん ■ 沖縄県立向陽高等学校出身

## “受験”から逃避するための多彩な活動が AC入試につながった

勉強自体は好きでしたが、大学入試をゴールにするような“受験勉強”は嫌いで、高校時代は正当な理由で学校をサボる方法ばかり考えていました(笑)。「おきなわ国際強力人材育成事業」に応募してラオスに2週間滞在したり、「聞き書き甲子園」や「観光甲子園」に参加したり、放送部員として沖縄の琉歌に関するラジオドキュメントを作成したりと、学びの場所を学校の外に求めていました。

「土帝君<sup>トゥーテイワン</sup>」の研究もそのひとつです。土帝君は中国由来の土地神様で、生まれ育った地域では当たり前のように土帝君の祭祀が行われていました。沖縄県内には60以上の地域で土帝君信仰が定着していますが、呼び方や祭祀内容は様々です。こうした信仰はラオスで見た宗教行為にもつながっており、土帝君信仰について詳しく知りたいと研究をスタート。高校の先生のアドバイスをもらいながら、郷土史の編集者や文化財課などにも問い合わせをするなどして研究を進めていました。

そんな頃に出会ったのがAC入試でした。友人の父親から「君に合っているじゃないか」と言われ、調べてみると、高校生としての活動を丸ごと評価してくれる、まさに自分のための入試だと思いました。筑波大には沖縄出身の沖縄研究者がいることもわかり、どうしてもAC入試で筑波大に進学したくなったのです。

とはいえ、何か特別に準備したわけではありません。ただ、受験勉強への葛藤も含めて自分の気持ちや研究活動への思いをすべて伝えようと、高校3年の夏休みは志望理由書と自己推薦書の執筆に時間を費やしました。これまでの活動を通して得たこと、感じたことを記した自己推薦書は42ページになり、活動の根拠となる添付資料は180ページもの分量になりました。幅広い研究が可能な比較文化学類に申し込ましたが、私の活動の幅広さや、まだ誰も手をつけていなかった沖縄における土帝君の研究への視点などが評価されたのだと思います。

## 興味ある授業はすべて受講し、 約3年間で198単位を取得

大学時代は、学校の外ばかりに目が向いていた高校時代とは間逆で、とても居心地がよく、勉強が楽しくて仕方がありませんでした。民俗学専攻ですが、学校教育への違和感から教員免許を取得する必要も感じていました。大学3年の秋学期から台湾に留学しますが、それまでに高校の地歴免許に加え、人文学類の講義の受講も含めて中学・高校の国語の免許も取得、さらに学芸員資格も取り、約3年間で198単位を取得するほど、大学での勉強に熱中していました。

台湾への留学は、大学入学以後もずっと続けていた土帝君の研究のためでした。中国由来の神様ならやはり現地の状況も知る必要があると考え、「トビ

タテ!留学JAPAN」の奨学金をもらい、台湾大学への1年間の交換留学生として、台湾における土帝君の源流を研究しました。また、民俗学の専門性を生かし、現地の博物館でも日本の修学旅行生向けの日本語ガイドをしたり、インターンとして博物館の教育普及活動に取り組んだりしました。このような大学での学びや活動経験は、すべて現在の自分につながっていると思います。

## 沖縄を基点に、 世界につながる研究活動を続けていきたい

大学4年の夏休みに台湾から帰国しました。すでに卒業単位は足りていましたが、もう少し土帝君の研究を続けたいと大学院に進学しました。博士前期課程が終わった段階で、日本学術振興会の特別研究員に採用されたため、博士後期課程に進むことになりました。ただ、筑波での大学院時代はずっとコロナ禍で、授業はすべてオンライン。沖縄に行くこともできず、調査もままなりません。そこで、博士前期課程1年目が終わり、コロナが落ち着いた段階で沖縄に戻りました。授業や指導教員とのやりとりなどはオンラインで十分可能ですし、論文執筆のために台湾への研究留学の必要もあつたからです。

ところが、研究留学に出発する時期に、沖縄県立博物館・美術館で民俗担当学芸員の公募が出ました。応募するかどうか悩みましたが、受験してみたら合格したため、3月31日に台湾から帰国し、翌日から学芸員として働き始めました。

現在は、博士論文の準備をしながら、博物館で民俗資料の収集、保存、展示、学校などへの教育普及などの業務をこなしています。今後も沖縄を基点としながら、日本や世界の文化につながるような研究活動を続けていきたいと考えています。

現在の私があるのは、すべてAC入試のおかげだと思っています。AC入試は特別な実績の有無を問わない極めて自由度の高い入試です。「好き」を突き詰めている高校生も、「嫌い」から出発した問題意識を原動力にしている高校生も、そのエネルギーをAC入試に向ければ、良い化学変化が起きるのではないのでしょうか。



世界展開力強化事業で訪れたロシア(モスクワ)の gum 百貨店(大学2年次)



台湾大学交換留学と並行してインターンに参加した順益台湾原住民博物館(大学3年次)

# 国際バカロレア特別入試

全学で実施



筑波大学では、国際バカロレアにかかる活動を支援するとともに、探究心をもって主体的に学び、信念をもって物事に挑戦し、世界的に活躍できる人材を育成するための入学試験として、全学で国際バカロレア特別入試を実施します。

## ● アドミッション・ポリシー

国際バカロレア資格を取得した者を対象として、主体的に学ぶための知識や思考力、明確な目標をもって学ぶ意欲、また、語学力を含めたコミュニケーション能力などを重視して入学者を選抜します。



国際バカロレア  
「10の学習者像」

国際バカロレア資格を取得したものを対象とした1回目（7月募集）と、国際バカロレア資格を取得した者及び取得見込みの者を対象とした2回目（10月募集）の、2回の入試を実施します。1回目（7月募集）に出願した者は2回目（10月募集）に出願することはできません。

【2024年度合格者出願先】 社会学類、国際総合学類、心理学類、情報科学類、医学類、芸術専門学群

## 【過去の実績】

	7月募集		10月募集	
	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数
2024年度	9人	3人	36人	7人
2023年度	15人	6人	27人	7人
2022年度	4人	2人	34人	9人

1回目(7月募集)	
対象	: 国際バカロレア資格を取得した者
選抜方法	: 第1次選考／書類選考 第2次選考／面接・口述試験
出願期間	: 7月上旬～7月中旬
第1次選考合格発表	: 8月上旬
第2次選考	: 8月下旬
第2次選考合格発表	: 8月下旬
募集学類	: ●教育学類 ●心理学類 ●障害科学類 ●医学類

2回目(10月募集)	
対象	: 国際バカロレア資格を取得した者及び取得見込みの者
選抜方法	: 第1次選考／書類選考 第2次選考／面接・口述試験、小論文、実技等 (学類・専門学群ごとに設定)
出願期間	: 10月上旬(スコア提出10月下旬)
第1次選考合格発表	: 10月下旬
第2次選考	: 11月下旬
第2次選考合格発表	: 12月中旬
募集学類	: すべての学類・専門学群

詳細は、筑波大学のホームページをご覧ください。

# 国際科学オリンピック特別入試



## 世界の科学技術をリードする人材をめざして

世界中の中等教育課程にある生徒（日本では主に高校生）が参加する、世界的な科学技術コンテストである「国際科学オリンピック」。

国際科学オリンピック特別入試は、同大会に日本代表として選抜された人、代表選考などで一定の成績を収めた人が対象となる入試です。明確な目的を持って学ぶ意欲や計画的に学ぶ意欲を、従来の試験とは違う観点から評価します。

## ● アドミッション・ポリシー

国際科学オリンピックに出場した者、またはその代表者選考会等において一定の成績を収めた者を対象として、明確な目標を持って学ぶ意欲や計画的に学ぶ意欲を評価して選抜します。

## 入試概要

### 【過去の実績】

	志願者数	合格者数
2024年度	1人	1人
2023年度	3人	1人
2022年度	3人	2人
2021年度	4人	4人
2020年度	5人	2人

### 募集学類

●物理学類 ●化学類 ●情報科学類 ●情報メディア創成学類

### 対象となるオリンピック

●化学 ●物理 ●情報 ●その他

### 選抜方法

エントリーシートの内容に基づいて、15分程度の個別面接により行います。

各学類の出願要件は募集要項で確認してください。

# 海外教育プログラム特別入試

医学群医学類で実施

筑波大学では、海外留学を支援するとともに、探究心をもって主体的に学び、信念をもって物事に挑戦し、世界的に活躍できる人材を育成するための入学試験として、帰国生徒や私費外国人留学生を対象とした海外教育プログラム特別入試を実施します。対象は、アビトゥア、普通バカロレア、GCE Aレベル、SAT、APを履修・受験した者です。

## 募集学群・学類、募集人員

医学群医学類：2名

## 選考方法

### ■ 第1次選考

出願時に提出された各教科の成績評価や書類等により、第1次選考合格者を決定します。

### ■ 第2次選考

第1次選考の合格者に対して面接・口述試験を行い、提出書類等の内容を含めて総合的に判定します。

## 【過去の実績】

	志願者数	第1次合格者数	合格者数
2024年度	10人	3人	1人
2023年度	13人	2人	0人
2022年度	18人	4人	1人
2021年度	5人	1人	1人
2020年度	10人	3人	2人
2019年度	8人	3人	1人

アドミッションポリシーや出願資格の詳細については、募集要項で確認してください。

# 研究型人材入試

医学群医学類で実施



筑波大学では、自然科学において自ら発見した課題に対し、主体的かつ継続的に取り組み、その結果、到達した高い成果を評価する新たな入学者選抜を実施します。対象は、日本学生科学賞等で優秀な成績を収めた者、国際科学オリンピック等で優秀な成績を収め、自らも研究を行った者等の中で、将来研究者を目指す者です。

## ● アドミッション・ポリシー

広い基礎学力に加えて、自ら発見した自然科学の課題に対し、自主的かつ継続的に取り組み、その結果、到達した高い成果を評価します。また、医学を志向する動機、修学の継続性、研究者としての適性・資質、社会的適応力等総合的な人間性についても評価します。

## 募集学群・学類、募集人員

医学群医学類：若干名

## 対象となるコンテスト等

①日本学生科学賞、高校生科学技術チャレンジ、科学の芽賞において一定以上の成績を収めた者、②国際科学オリンピックや科学の甲子園において一定以上の成績を収め、理系の研究を行った者、③理系の学術論文を執筆した者、④番号①と同等又はそれ以上の優れた理系の研究を行った者（詳細は募集要項を参照）。

## 【過去の実績】

	志願者数	第1次合格者数	第2次合格者数	合格者数
2024年度	3人	1人	1人	0人
2023年度	6人	3人	2人	0人
2022年度	7人	4人	1人	1人
2021年度	7人	2人	1人	1人
2020年度	4人	1人	1人	0人

## 選考方法

### ■ 第1次選考

出願時に提出された書類等により、第1次選考合格者を決定します。

### ■ 第2次選考

第1次選考合格者に対して面接・口述試験および適性試験を行い、提出書類の内容を含めて総合的に判定します。

### ■ 最終選考

第2次選考合格者のうち、大学入学共通テストの得点が原則として8割以上の者を合格とします。

1年生から  
研究できる!

## 先導的研究者体験プログラム (ARE)

筑波大学には、入学後も高校時代の研究を継続できる環境があります!



先導的研究者体験プログラム (ARE) は、全学群の1～3年生が応募できる研究活動支援プログラムです。研究計画書を提出し、採択されれば、研究費と研究場所が提供されます。スーパーサイエンスハイスクール (SSH) での研究活動、理科や総合的学習における自主的な課題研究など、大学入学前から科学的な研究を行ってきた人はもちろん、大学進学後には研究活動をしたいと考えていた人も、文系・理系を問わず応募してください。

## 【過去5年間の申請および採択件数】

	申請数	採択件数(人)
2023年度	69件	59件(59人)
2022年度	52件	42件(42人)
2021年度	63件	58件(58人)
2020年度	62件	58件(58人)
2019年度	95件	77件(77人)

詳しくはWebをご覧ください。  
<https://www.are.tsukuba.ac.jp>

## AC入試Q&A

### Q. AC入試の選考で重視されるのはどんなことですか

#### A. 志願者の問題発見・解決能力を、最も重視します。

提出された自己推薦資料の内容をもとに、志願者の主体的・継続的な活動の中で、どのような問題の発見と解決があったのかを評価します。その際、活動の実績そのものを重視するのではなく、志願者がどのような工夫によってその実績を上げたのか、また、その実績をどのように認識しているのかを重視します。すなわち、結果に至る過程や、活動の「質」が重要になります。また、志願者が大学で学びたいことが、志願する学類・専門学群で学習可能か、志願先の研究教育内容と志願者の目的とが合致しているか、ということも重視します。人物評価の入試ではありません。

### Q. 問題発見・解決能力のある人とは、具体的にどういう人ですか

#### A. 主体的な興味や関心から、自分自身の問題意識を育て、その解決に向けて独自の視点から工夫や努力を続けている人です。

例えば、物理や化学の実験、歴史の研究、生物の観察などを続ける過程で、自分自身の問題意識をもち、さまざまに工夫しながらその問題に取り組んできた人です。また、生徒会活動、課外活動、ボランティア活動などの中で独自の問題意識を育て、解決に向けて工夫を続けてきた人です。このような人には「主体的に学ぶ力」という大切な学力が備わっていると考えられます。AC入試では、志願者がそうした活動を続ける中で、何をどう考え、どう行動したのかを評価します。過去の合格者の自己推薦内容はwebページでも公表しています。

<https://ac.tsukuba.ac.jp/examination/report>

### Q. 出願するにはコンテストや競技会での入賞歴や何らかの資格取得、検定合格などが必要ですか

#### A. 必要ではありません。

AC入試は資格や実績そのものを評価する入試ではありません。資格や実績の有無にとらわれず、これまでの自分の活動(研究、課外活動、趣味など)における問題の発見と解決の過程を具体的に提示することが大切です。問題解決の過程で取得した資格や合格した検定、入賞歴などがあれば自己推薦の資料に加えることはできます。その資格や検定が自分の活動の中にどう位置づけられるのか、きちんと説明できることが大切です。ただし、体育専門学群では運動競技の実績を、他の資料とともに重視して評価します。競技の実績がまったくなければ合格はきわめて困難です。

### Q. SSH※などの共同研究の成果を自己推薦に利用できますか

※スーパーサイエンスハイスクール

#### A. 利用してもかまいません。

ただし、その共同研究において志願者本人が担当した部分や、志願者本人の具体的な貢献を、自己推薦書の中で明確に示す必要があります。他のメンバーが担当した部分や、他のメンバーが成し遂げた問題解決とははっきりと区別して、志願者本人の問題発見・解決能力が読み取れるように提示してください。

### Q. 国際科学オリンピックでの成績は評価の対象になりますか。

#### A. AC入試は実績そのものを評価する入試ではありません。

志願者の活動における問題発見・解決の過程を重視して評価します。一方、国際科学オリンピック特別入試は実績を重視して評価します。

### Q. 高校の成績(評定平均値)は重視されますか

#### A. 主として、入学後、支障なく学習できるかどうかを確認するために使われます。

合格者には、結果的に成績がよい人が多くなっていますが、出願要件ではありません。

### Q. なぜ、募集時期、選考時期が早いのですか

#### A. AC入試は、志願者の継続的な活動における問題発見と解決の過程を評価する試験であり、試験当日の偏差値的学力を評価するわけではありません。

したがって高校3年の早い時期でも適切な選抜が可能であると考えられます。「早く進路を決めて、入学までの時間でさらに自分の勉強を進めたい」という志願者を求めているのです。また、早めに実施することで、大学入学共通テストや個別学力検査への影響を最小限にできると考えています。決して早く学生を確保することが目的ではありません。このことは、合格者数が必ずしも募集人員を充たさないことから分かるものと考えています。

### Q. 必ず募集人員どおりに合格者が決まりますか

#### A. いいえ。

ふさわしい志願者がいないと判断した場合は、合格者が募集人員より少なくなり、欠員分は個別学力検査等(前期日程)に振り替えられます。一方、AC入試で募集人員より多く合格することもあります。その場合でも、個別学力検査等(前期日程)の募集人員が減ることはありません。

### Q. 筑波大学の推薦入試等と併願できますか

#### A. 推薦入試や個別学力検査等(前期・後期日程)と併願できます。

国際科学オリンピック特別入試、国際バカロレア特別入試、海外教育プログラム特別入試、研究型人材入試とは併願できません。

## 国際科学オリンピック特別入試Q&A

### Q. 出願できるのはどのような人ですか?

#### A. 過去3年間に、国際科学オリンピックに日本代表として選抜された人や、国内予選で好成績を収めた人などです。

詳しくは学生募集要項(6月下旬公表)でご確認ください。

### Q. 選考で重視されるのはどんなことですか?

#### A. 予選や本選での成績に加え、明確な目的意識や計画的に学ぶ意欲、入学後に必要となる学習適応性などです。

調査書やエントリーシート、15分程度の面接などを含めて総合的に合否を判定します。大学入学共通テストは課しません。

### Q. 筑波大学の推薦入試等と併願できますか?

#### A. 推薦入試や個別学力検査等(前期・後期日程)と併願できます。

AC入試、国際バカロレア特別入試、海外教育プログラム特別入試、研究型人材入試とは併願できません。

## 国際バカロレア特別入試Q&A

### Q. 国際バカロレア最終試験のスコアは何点以上で合格できますか?

#### A. スコアだけで合否を判定しません。

EE、TOK、CASの成果などに関する提出書類や、面接・口述試験と併せて総合的に判定します。

### Q. TOEFL等、英語の4技能検定試験の結果も提出するのですか?

#### A. 英語を履修していれば必要ありません。

履修していない場合の扱いは教育組織ごとに違いますので、募集要項でよく確認してください。

### Q. 10月応募の選考方法はどのようなものですか?

#### A. 教育組織ごとに設定します。

小論文や実技、適性検査など、学類・専門学群ごとに異なります。募集要項でよく確認してください。

## ● 入学への歩み



\*国際バカロレア特別入試(7月募集、10月募集)の日程については04ページを参照してください。

## ● 学生募集要項の入手方法

各学生募集要項(願書)は、本学のホームページからダウンロードできます。

<https://ac.tsukuba.ac.jp/apply/application-guidelines/>

(HOME ▶ 受験する ▶ 入試日程と募集要項) ※2024年4月～

その他、入試に関する資料の請求方法はこちらをご覧ください。

<https://ac.tsukuba.ac.jp/guidebooks/>

(HOME ▶ 各種資料) ※2024年4月～

インターネット出願登録ページはこちらからアクセスできます。

(登録は出願期間のみ可能です)

<https://e-apply.jp/ds/tsukuba/>

ガイダンス・進学相談、過去の「AC入試・特別入試ガイドブック」についてはこちら

▶ <https://ac.tsukuba.ac.jp>

2024年度  
筑波大学  
オープンキャンパス

<https://ac.tsukuba.ac.jp/>

### 実施日程

夏 2024 7/27<sup>土</sup> 7/28<sup>日</sup> 8/3<sup>土</sup>

秋 2024 11月 (学園祭期間中、大学概要説明のみ)

春 2025 3月末

実施方法、申込時期等については決定次第、本学ホームページで公表します。

その他、アドミッションセンター教員によるオンライン進学相談(大学院への進学相談を除く)や、進学相談チャットボット、各種進学説明会などの情報は、アドミッションセンターのホームページでご確認ください。



アドミッションセンター

〒305-8577 茨城県つくば市天王台 1-1-1  
TEL.029-853-7385 FAX.029-853-7392  
<https://ac.tsukuba.ac.jp>

詳細は筑波大学ホームページへ

筑波大学 で 検索